



アクセルとブレーキ、そしてハンドル

今の世の中は、交通や情報だけでなく、ビジネスの世界も含め様々な場面でスピードが追求されています。交通を例に見てみますと、日本が世界に誇る新幹線はすごいスピードで走り、次世代の交通機関として期待される「リニア」も実用化に向けて開発が進んでいます。しかし、この「リニア」の実用化では、スピードを上げることと同時に、いかに安全に止まるかも重要な課題になっています。「動くこと」と「止まること」は、つまり「アクセル」と「ブレーキ」でセットの働きというわけです。



さて、このことを「自分」または、「学校」という車を走らせることに例えて考えてみましょう。私たちが行動するとき、「〇〇だからこうしよう」など、頭で考え判断し、心で後押しをします。つまり、自らの意志でアクセルを踏んで前に進みます。この「アクセルを踏むこと」は、行動をする上で原動力となるのでとても大切です。今日はやる気になれない……。誰にでもそのような経験はあると思いますが、でも奮い立ってアクセルを踏まないと前に進みません。アクセルを踏むことは、一步前に踏み出すという意味で重要なのです。

では、「アクセルを踏みさえすればよいか」というと、それだけでは困ります。強く踏めば、脇目も振らず我が道を真っ直ぐ進むことになり、衝突する危険性が高まります。自分や他の人が傷付いたり、他の人に迷惑がかかったりしかねません。私たちは毎日生活をする上で、前に進む「アクセル」と同時に「ブレーキ」を身に付けていなければなりません。「これは行き過ぎではないか」、「人を傷付ける行為ではないか」など、自分で自分に問いかけてみる。これが、「心のブレーキ」です。「自制」「自己制御」という言葉に置き換えることもできます。このアクセルとブレーキをバランスよく踏み分けることが大切です。

加えて、特に大切にしたいのが、「ハンドル」です。私たちは、常にどちらに進もうか、何を選ぼうかと、様々なことを選択しながら毎日を生きています。「今どの方向に進んでいるのか」、「目的に向かって進んでいるのか」、「辺りをさまようように回っていないか」、「誤った方向に進んでいるのではないか」、「引き返すべきではないのか・・・」などを確認しながら、確かなハンドルさばきで、よりよく毎日を過ごしたいものです。

春季運動会について〈お願い〉

5月27日（土）の春季運動会が近づいてきました。すでに、ご案内のプリントを配付しておりますが、以下の内容を今一度ご確認ください。

- **今年度は、観覧の人数制限はありません。**敬老席（地域席）も準備します。昨年度より観覧者数が増えることが予想されるため、マナーを守ってご観覧ください。
- トラック周りに、競技・演技中の学年の保護者観覧席を設けます。地区割りの観覧席は設けません。家庭用のテントや大きいパラソルの設営、ブルーシート等で場所を広く取ることはご遠慮ください。
- 体育館を休憩場所（熱中症対策を含む）として開放します。
- 駐車場が限られているため、徒歩でのご来場にご協力ください。